

表9-3 亀山ダム貯水池プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 25. 4. 17	H 25. 4. 17	H 25. 4. 17	
採取時刻			10:42	11:42	9:42	
全水深 (m)			16.9	15.1	16.9	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	1120	400	1420
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		10	+
3			Peridinium spp.	470	20	170
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	230	110	210
5			Mallomonas spp.		+	+
6			珪藻	Asterionella formosa	200	580
7		Fragilaria crotonensis			+	
8		Gomphonema sp.		10		
9		Nitzschia spp.		+		10
10		Synedra acus			70	
11		Thalassiosiraceae-5		5560	3680	4320
12		Thalassiosiraceae-10		410	480	300
13		Thalassiosiraceae-25		40	40	40
14		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	170	30
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	80	70	40
16			Coelastrum spp.	+	+	
17			Monoraphidium sp.		+	
18			Pandorina morum	160	+	
19			Pediastrum duplex		+	
20			Scenedesmus bicaudatus	40	+	+
21			Scenedesmus spp.	+	+	
22			Schroederia setigera	10	10	10
23			Tetrastrum elegans		80	
24	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1	
25	輪形動物	輪虫	Asplanchna herricki		1	
26			EUROTATOREA	1	1	
27	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	28	8	5
28			POLYHYMENOPHORA		1	1
29			—	CILIOPHORA		2
30	不明プランクトン	—	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40	20	40
31			鞭毛藻	1120	460	400
総数			9689	6074	6997	
種類組成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	1120	400	1420
			渦鞭毛藻	470	30	170
			黄金色藻	230	110	210
			珪藻	6220	4850	4670
			ユーグレナ藻	170	30	30
			緑藻	290	160	50
			その他の植物性動物性	1160	480	440
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、 倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地点			堤体直上流部	小月橋	龜山大橋	
採取年月日			H 24. 5. 7	H 24. 5. 7	H 24. 5. 7	
採取時刻			11:10	11:42	9:53	
全水深 (m)			15.4	15.9	16.2	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	380	240	
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	40	10	
3	不等毛植物	珪藻	Amphora sp.		10	
4			Asterionella formosa		+	
5			Fragilaria crotonensis		+	
6			Thalassiosiraceae-5	880	400	
7			Thalassiosiraceae-10	70	100	
8			Thalassiosiraceae-25	+	20	
9	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	60	+
10	緑色植物		緑藻	Chlamydomonas spp.	20	30
11		Closterium sp.		+		
12		Coelastrum spp.		+	+	
13		Crucigenia quadrata			+	
14		Eudorina elegans		+	+	
15		Eudorina spp.			320	
16		Gonium pectorale		+		
17		Nephrocytium sp.				
18		Oocystis sp.			+	
19		Pandorina morum		80	80	
20		Planktosphaeria gelatinosa		+	60	
21		Scenedesmus bicaudatus			40	
22		Scenedesmus ecornis				
23		Scenedesmus sp.				
24		Staurastrum sp.			+	
25	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1	
26	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		1	
27		-	CILIOPHORA		1	
28	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		20	
29			鞭毛藻	80	220	
30			鞭毛虫	80	20	
総数			1690	1341	3123	
種類組成			藍藻	0	0	
			クリプト藻	380	240	
			渦鞭毛藻	40	10	
			黄金色藻	0	0	
			珪藻	950	520	
			ユーグレナ藻	60	0	
			緑藻	100	530	
			その他の植物性	80	20	
			動物性	80	21	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 24. 6. 4	H 24. 6. 4	H 24. 6. 4	
採取時刻			10:40	11:40	10:04	
全水深 (m)			16.7	15.0	15.61	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(50)	(20)	(60)
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)	(10)	
3			Anabaena (不規則トリコーム)	(+)	(+)	
4			Aphanizomenon spp.	(+)	(+)	
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.			40
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella			+
7			Peridinium sp.			+
8	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.			+
9			Mallomonas akrokomos			10
10			Mallomonas spp.		+	20
11		珪藻	Amphora sp.	+		
12			Asterionella formosa	+	+	440
13			Attheya zachariasii	+		10
14			Aulacoseira ambigua	40	100	340
15			Aulacoseira granulata	+	+	200
16			Fragilaria crotonensis	840	720	1830
17			Rhizosolenia longiseta			+
18			Synedra acus			+
19	Synedra berolinensis		+			
20	Synedra spp.				20	
21	Thalassiosiraceae-5		20	80	20	
22	Thalassiosiraceae-10	30	20	70		
23	Thalassiosiraceae-25			+		
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	30	60	40
25	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	+	+	50
26			Chodatella sp.			10
27			Closteriopsis longissima			10
28			Closterium spp.	10	10	
29			Coelastrum spp.	+		720
30			Crucigenia quadrata			+
31			Eudorina uniccoca		+	
32			Eudorina sp.			+
33			Gloeocystis spp.	20	10	80
34			Lambertia judayi	+	10	10
35			Micractinium sp.			+
36			Oocystis spp.	40	30	40
37			Pandorina morum	+	+	+
38			Pediastrum duplex	+	160	240
39			Pediastrum tetras			+
40			Planktosphaeria gelatinosa	+		480
41			Scenedesmus bicaudatus	40		
42			Scenedesmus sp.			40
43			Schroederia setigera	10	10	30
44			Schroederia spiralis			+
45			Selenastrum minutum			10
46			Staurastrum spp.	+	+	10
47			CHLOROPHYCEAE	30	20	50
48	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.		1	
49			POLYHYMENOPHORA			1
50			CILIOPHORA	2	2	
51	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40	20	60
52			鞭毛藻	60	100	20
総数			1262	1443	4901	
種類組成			藍藻	50	30	60
			クリプト藻	0	40	0
			渦鞭毛藻	0	0	0
			黄金色藻	0	0	30
			珪藻	930	940	2910
			ユーグレナ藻	30	60	40
			緑藻	150	250	1780
			その他の植物性動物性	100	120	80
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット (5 μmメッシュ) により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板 (0.1ml) に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋					
採取年月日		H 24. 7. 3	H 24. 7. 3	H 24. 7. 3					
採取時刻		13:10	14:00	12:10					
全水深 (m)		21.1	15.2	16.3					
採取水深 (m)		0.50	0.50	0.50					
採水量 (ml)		100	100	100					
No.	門	網	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(250)	(430)	(530)			
2			Aphanizomenon sp.		(10)				
3			Microcystis aeruginosa	+	+				
4			Microcystis viridis		+				
5			Microcystis wesenbergii	+	+	+			
6			Oscillatoria sp.	(+)					
7	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	100	70	160			
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	10	+				
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.			10			
10			珪藻	Asterionella formosa	440	40	390		
11				Attheya zachariasii	+	+	10		
12				Aulacoseira ambigua	+	+			
13				Aulacoseira granulata	360	570	320		
14				Fragilaria crotonensis	1300	720	610		
15				Rhizosolenia longisetata		+	+		
16				Synedra acus	100	10	150		
17				Thalassiosiraceae-5	20	40	40		
18				Thalassiosiraceae-10	30	+	10		
19				Thalassiosiraceae-25	+	+	+		
20				ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	30	50	20
21				緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	130	40	50
22	Dictyosphaerium sp.	+							
23	Eudorina elegans	+	160			480			
24	Eudorina unicocca		160						
25	Eudorina spp.	320	+			+			
26	Franceia spp.	+				+			
27	Micractinium sp.					+			
28	Mougeotia sp.					40			
29	Oocystis sp.					+			
30	Planktosphaeria gelatinosa	+	60			100			
31	Scenedesmus bicaudatus	+	40						
32	Scenedesmus denticulatus	40							
33	Scenedesmus sp.		+						
34	Schroederia setigera					10			
35	Selenastrum minutum	40	10			10			
36	Staurastrum spp.	+	+			10			
37	Volvox sp.					+			
38	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1					
39	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	2	2				
40	絨毛虫	—	CILIOPHORA		3				
41	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	1					
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	60					
43			鞭毛藻	40	40				
44			鞭毛虫	300	380	20			
総数				3574	2835	2970			
種類組成			藍藻	250	440	530			
			クリプト藻	100	70	160			
			渦鞭毛藻	10	0	0			
			黄金色藻	0	0	10			
			珪藻	2250	1380	1530			
			ユーグレナ藻	30	50	20			
			緑藻	530	470	700			
			その他の植物性	100	40	0			
			動物性	304	385	20			
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理					
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット (5 μmメッシュ) により10倍に濃縮した。					
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板 (0.1ml) に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡 (100～400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
備考									
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 ・定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻網 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・藍藻網 Aphanizomenon 属と藍藻網 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻網 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻網 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 ・珪藻網 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻網 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 									

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 24. 8. 15	H 24. 8. 15	H 24. 8. 15	
採取時刻			10:49	11:30	10:00	
全水深 (m)			17.9	14.8	16.9	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(130)	(210)	(220)
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)	(+)	(20)
3			Anabaena (不規則トリコーム)			(+)
4			Aphanizomenon spp.	(90)	(90)	(90)
5			Microcystis aeruginosa	11920	13080	49110
6			Oscillatoria spp.	(30)	(10)	
7	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	420	690	260
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	+	+
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	120	90	140
10		珪藻	Attheya zachariasii	80	50	100
11			Aulacoseira ambigua	50	+	
12			Aulacoseira granulata	+	60	
13			Fragilaria crotonensis	250	270	+
14			Rhizosolenia longiseta	70	10	150
15			Synedra acus	70	70	50
16			Thalassiosiraceae-5	40	20	20
17			Thalassiosiraceae-10	10	40	+
18	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	30	20
19	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	30	10	40
20			Closteriopsis longissima	30	10	60
21			Coelastrum spp.	+	+	400
22			Dictyosphaerium sp.			40
23			Elakatothrix sp.		20	
24			Eudorina spp.	+		+
25			Golenkinia radiata	20	20	30
26			Lambertia judayi	190	70	50
27			Monoraphidium spp.	140	20	
28			Mougeotia spp.	+		+
29			Nephrocytium spp.	+	40	
30			Oocystis spp.	20	70	120
31			Pediastrum duplex		+	160
32			Pediastrum simplex	480	+	160
33			Planktosphaeria gelatinosa	+		
34			Scenedesmus spp.	40	+	
35			Schroederia setigera	10		
36			Schroederia spiralis		20	10
37			Schroederia spp.	80	40	60
38			Staurastrum spp.	40	10	60
39	CHLOROPHYCEAE	40	10			
40	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	2		
41	輪形動物	輪虫	Keratella spp.	2		
42			Polyarthra spp.	2	1	
43			EUROTATOREA	1	2	8
44	繊毛虫	キネトフラグミノーゾア	Coleps spp.	42	6	13
45		多膜口	Tintinnidium sp.			1
46		-	CILIOPHORA	6		
47	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	1	2	
48	不明プランクトン		鞭毛藻		20	
49			鞭毛虫			40
総数			14486	15121	51442	
種類組成			藍藻	12170	13390	49440
			クリプト藻	420	690	260
			渦鞭毛藻	0	0	0
			黄金色藻	120	90	140
			珪藻	570	520	320
			ユーグレナ藻	30	20	10
			緑藻	1120	340	1190
			その他の植物性動物性	0	20	0
				56	51	82
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考			<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 			

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 24. 9. 13	H 24. 9. 13	H 24. 9. 13	
採取時刻			10:33	11:04	9:53	
全水深 (m)			14.0	12.3	12.5	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa	620	340	430
2			Microcystis viridis	+		
3			Oscillatoria spp.	(+)		(+)
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	130	650	160
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	10	+
6			Peridiniaceae	160	30	330
7	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas spp.	10	30	10
8			Aulacoseira granulata	+		40
9			Fragilaria crotonensis	+		60
10			Rhizosolenia longiseta			+
11			Synedra acus	10	+	20
12			Thalassiosiraceae-5	780	300	900
13			Thalassiosiraceae-10	170	60	120
14			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	150
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	160	30	80
16			Coelastrum sp.			320
17			Cosmarium sp.	+		
18			Crucigenia quadrata	40		160
19			Elakatothrix spp.			40
20			Eudorina unicocca		+	
21			Eudorina spp.	160	960	
22			Monoraphidium spp.	+	+	10
23			Nephrocytium sp.	+		
24			Oocystis spp.	120	40	220
25			Pediastrum duplex			+
26			Pediastrum simplex			+
27			Planktosphaeria gelatinosa			50
28			Scenedesmus denticulatus			+
29			Scenedesmus ecornis	+		
30			Scenedesmus spp.	+		+
31			Schroederia setigera	+	10	40
32	Staurastrum spp.	+	+	+		
33	Tetraedron sp.			10		
34		CHLOROPHYCEAE		80	60	
35	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.			1
36	繊毛虫	-	CILIOPHORA			4
37	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	3		5
38	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	520	80	40
39			鞭毛藻	20	380	
40			鞭毛虫	100		
総数			3153	3040	3220	
種類組成			藍藻	620	340	430
			クリプト藻	130	650	160
			渦鞭毛藻	160	40	330
			黄金色藻	10	30	10
			珪藻	960	360	1140
			ユーグレナ藻	150	40	110
			緑藻	480	1120	990
			その他の植物性	540	460	40
			動物性	103	0	10
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日		H 24.10.2	H 24.10.2	H 24.10.2		
採取時刻		11:00	12:00	10:03		
全水深 (m)		16.3	13.5	14.7		
採取水深 (m)		0.50	0.50	0.50		
採水量 (ml)		100	100	100		
No.	門	網	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(+)	
2			Aphanocapsa sp.	(10)		
3			Chroococcus sp.			
4			Microcystis aeruginosa	140	160	20
5			Microcystis wesenbergii			470
6			Oscillatoria spp.	(40)	(30)	(40)
7	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	2240	1190	2660
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	10	10	30
9			Gymnodinium sp.		+	
10			Peridinium spp.	150	160	90
11			Peridiniaceae	10		
12	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	220	140	380
13			Synura sp.		+	
14			珪藻	Aulacoseira granulata	120	60
15		Synedra acus		230	110	290
16		Thalassiosiraceae-5		60	80	
17		Thalassiosiraceae-10	170	120	80	
18	Thalassiosiraceae-25	80	60	170		
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	110	30	120
20	緑色植物	緑藻	Carteria spp.	20		
21			Chlamydomonas spp.	70	80	70
22			Closterium spp.	+	10	+
23			Coelastrum spp.	+	+	+
24			Crucigenia quadrata	40	+	160
25			Dictyosphaerium spp.	480	+	+
26			Elakatothrix spp.	+	+	
27			Eudorina spp.	480	240	1720
28			Golenkinia radiata			30
29			Mougeotia sp.	+		
30			Oocystis spp.	40	+	50
31			Pediastrum duplex			+
32			Pediastrum simplex		+	160
33			Pediastrum tetras	80	+	
34			Planktosphaeria gelatinosa	50	60	+
35			Scenedesmus spp.	80		120
36			Schroederia setigera	+	20	10
37			Staurastrum spp.	+	+	+
38			Tetraedron spp.	10		+
39	Westella botryoides	+	240	+		
40	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		1	1
41			EUROTATOREA			1
42	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.			1
43		-	CILIOPHORA		1	2
44	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		20	20
45			鞭毛藻	320	200	280
46			鞭毛虫	100	280	100
総数			5360	3302	9135	
種類組成			藍藻	190	190	1250
			クリプト藻	2240	1190	2660
			渦鞭毛藻	170	170	120
			黄金色藻	220	140	380
			珪藻	660	430	1880
			ユーグレナ藻	110	30	120
			緑藻	1350	650	2320
			その他の植物性	320	220	300
			動物性	100	282	105
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット (5 μmメッシュ) により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板 (0.1ml) に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡 (100~400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

	採取地	堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
	採取年月日	H 24. 11. 13	H 24. 11. 13	H 24. 11. 13		
	採取時刻	11:50	12:20	10:52		
	全水深 (m)	17.4	14.6	16.7		
	採取水深 (m)	0.50	0.50	0.50		
	採水量 (ml)	100	100	100		
No.	門	網	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(+)		
2			Microcystis aeruginosa			870
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	180	330	90
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	+	
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		10	
6			Mallomonas spp.	30	10	10
7		ラフィド藻	RHAPHIDOPHYCEAE	10		
8		珪藻	Attheya zachariasii	+		
9			Aulacoseira distans	160	30	
10			Aulacoseira granulata	+	80	80
11			Navicula sp.	+		
12			Nitzschia sp.	+		
13			Synedra acus	10		+
14			Thalassiosiraceae-5	20	20	
15			Thalassiosiraceae-10	10	+	40
16			Thalassiosiraceae-25	+	10	
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	40	20	20
18	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	40	+	20
19			Chlorogonium sp.			+
20			Closterium spp.	20	+	20
21			Coelastrum sp.	160		
22			Crucigenia quadrata	80		+
23			Eudorina sp.		+	
24			Oocystis spp.	30	+	+
25			Pediastrum duplex			+
26			Pediastrum tetras			+
27			Planktosphaeria gelatinosa	+	+	+
28			Schroederia spiralis			20
29			Staurostrum sp.	+		
30			CHLOROPHYCEAE	10	20	
31	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1		
32	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	1		2
33			POLYHYMENOPHORA			1
34	不明プランクトン		鞭毛藻	80	40	
総数				882	573	1170
種類組成				0	0	870
藍藻				180	330	90
クリプト藻				0	0	0
渦鞭毛藻				30	20	10
黄金色藻				200	140	120
珪藻				40	20	20
ユーグレナ藻				340	20	60
その他の植物性				90	40	0
動物性				2	3	0
検査条件				固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
				分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
				検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考				<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻網の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 		

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 24. 12. 14	H 24. 12. 14	H 24. 12. 14	
採取時刻			11:00	11:55	10:15	
全水深 (m)			17.8	15.5	16.3	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	10	+	90
2	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.			+
3			Synura spp.	+		+
4		珪藻	Aulacoseira ambigua		70	+
5			Aulacoseira distans	60	+	
6			Aulacoseira granulata	+		200
7			Nitzschia sp.	+		
8			Synedra acus	+		+
9			Thalassiosiraceae-10	10	+	10
10			Thalassiosiraceae-25	+	+	+
11			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20
12	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.		10	30
13			Closterium spp.	10	10	40
14			Coelastrum spp.	+		+
15			Monoraphidium sp.		+	
16	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.			1
17		-	CILIOPHORA			2
18	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	1		1
19	不明プランクトン		鞭毛藻	20	20	80
20			鞭毛虫	20	40	20
総数			151	150	474	
種類組成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	10	0	90
			渦鞭毛藻	0	0	0
			黄金色藻	0	0	0
			珪藻	70	70	210
			ユーグレナ藻	20	0	0
			緑藻	10	20	70
			その他の植物性	20	20	80
			動物性	21	40	24
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 25. 1. 10	H 25. 1. 10	H 25. 1. 10	
採取時刻			11:20	11:54	10:10	
全水深 (m)			17.4	14.8	16.8	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	100	
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		+	
3	不等毛植物	黄金色藻	Synura spp.		+	
4		珪藻	Asterionella formosa		+	
5			Aulacoseira ambigua	+	+	
6			Aulacoseira distans		180	+
7			Nitzschia spp.	10	10	+
8			Synedra acus	+	+	+
9			Thalassiosiraceae-10	10	30	10
10			Thalassiosiraceae-25	+	10	
11	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	20	
12	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.		40	
13			Closterium spp.	+	+	10
14			Crucigenia tetrapedia			40
15			Elakatothrix spp.	20	20	
16			Pediastrum duplex			+
17	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		1	
18	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		1	
19			Tintinnopsis sp.		1	
20		-	CILIOPHORA	1		
21	不明プランクトン		鞭毛藻	120	120	
22			鞭毛虫	+		
総数				211	533	
種類組成			藍藻	0	0	
			クリプト藻	40	100	
			渦鞭毛藻	0	0	
			黄金色藻	0	0	
			珪藻	20	230	
			ユーグレナ藻	10	20	
			緑藻	20	60	
			その他の植物性動物性	120	120	
				1	3	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

採取地		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日		H 25. 2. 12	H 25. 2. 12	H 25. 2. 12
採取時刻		11:20	11:57	10:50
全水深 (m)		17.5	14.7	16.9
採取水深 (m)		0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)		100	100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Coelosphaerium sp.	(+)
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	30
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+
5			Synura spp.	2670
6		珪藻	Asterionella formosa	160
7			Aulacoseira ambigua	
8			Aulacoseira distans	10
9			Fragilaria sp.	+
10			Navicula sp.	+
11			Nitzschia spp.	
12			Synedra acus	110
13			Thalassiosiraceae-5	420
14			Thalassiosiraceae-10	460
15			Thalassiosiraceae-25	120
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	+
17	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	50
18			Closteriopsis longissima	
19			Closterium spp.	20
20			Crucigenia quadrata	
21			Elakatothrix spp.	
22			Golenkinia radiata	10
23			Planktosphaeria gelatinosa	
24	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.	1
25	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.	
26		-	CILIOPHORA	
27	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40
28			鞭毛藻	100
29			鞭毛虫	
総数			4201	3990
種類組成			0	0
藍色植物			30	10
渦鞭毛藻			0	20
黄金色藻			2670	2300
珪藻			1280	1540
ユーグレナ藻			0	20
緑藻			80	60
その他の植物性			140	40
動物性			1	0
固定条件			定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件			定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件			定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の設面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 				

採取地点			堤体直上流部	小月橋	龜山大橋	
採取年月日			H 25. 3. 11	H 25. 3. 11	H 25. 3. 11	
採取時刻			12:15	11:27	12:54	
全水深 (m)			17.6	15.0	16.2	
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	20	10	40
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+	10	10
3			Peridinium spp.	40	20	50
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	+	10
5			Synura spp.	10	640	160
6		珪藻	Amphora sp.	10		
7			Asterionella formosa	40	70	130
8			Aulacoseira ambigua			60
9			Aulacoseira distans	100	240	+
10			Fragilaria crotonensis	+	+	+
11			Nitzschia spp.		20	50
12			Synedra acus	30	20	90
13			Synedra ulna		20	+
14			Synedra sp.			10
15			Thalassiosiraceae-5	300	320	390
16			Thalassiosiraceae-10	1100	960	3280
17			Thalassiosiraceae-25	80	30	150
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	40	+
19	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	90	90	60
20			Closteriopsis longissima			10
21			Closterium spp.	+	+	10
22			Elakatothrix spp.			60
23			Micractinium sp.			+
24			Monoraphidium spp.	30	10	
25			Nephrocytium sp.	+		
26			Oocystis spp.		+	+
27			Pandorina morum			+
28			Scenedesmus spp.	40		+
29			Schroederia setigera	40		
30	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.			1
31			Polyarthra spp.			2
32	繊毛虫	キネトフラクミノーゾア	KINETOFRAGMINOPHORA			4
33		多膜口	Tintinnidium spp.		1	1
34			Tintinnopsis spp.		2	2
35			POLYHYMENOPHORA	2		
36			CILIOPHORA	3	1	1
37	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	6	9	
38	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	60	20	480
39			鞭毛藻	140	100	140
40			鞭毛虫	300		100
総数				2451	2633	5301
種類組成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	20	10	40
			渦鞭毛藻	40	30	60
			黄金色藻	10	640	170
			珪藻	1660	1680	4160
			ユーグレナ藻	10	40	0
			緑藻	200	100	140
			その他の植物性	200	120	620
			動物性	311	13	111
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、 倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm, 10 μm, 25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

網別プランクトン数月別推移（堤体直上流部）

調査月日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合計
4月 5日	0	60	40	10	4270	20	600	400	41	5441
5月 7日	0	380	40	0	950	60	100	80	80	1690
6月 4日	50	0	0	0	930	30	150	100	2	1262
7月 3日	250	100	10	0	2250	30	530	100	304	3574
8月 15日	12170	420	0	120	570	30	1120	0	56	14486
9月 13日	620	130	160	10	960	150	480	540	103	3153
10月 2日	190	2240	170	220	660	110	1350	320	100	5360
11月 13日	0	180	0	30	200	40	340	90	2	882
12月 14日	0	10	0	0	70	20	10	20	21	151
1月 10日	0	40	0	0	20	10	20	120	1	211
2月 12日	0	30	0	2670	1280	0	80	140	1	4201
3月 11日	0	20	40	10	1660	10	200	200	311	2451

網別プランクトン数月別推移（小月橋）

調査月日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合計
4月 5日	20	70	40	110	5850	20	810	600	80	7600
5月 7日	0	240	10	0	520	0	530	20	21	1341
6月 4日	30	40	0	0	940	60	250	120	3	1443
7月 3日	440	70	0	0	1380	50	470	40	385	2835
8月 15日	13390	690	0	90	520	20	340	20	51	15121
9月 13日	340	650	40	30	360	40	1120	460	0	3040
10月 2日	190	1190	170	140	430	30	650	220	282	3302
11月 13日	0	330	0	20	140	20	20	40	3	573
12月 14日	0	0	0	0	70	0	20	20	40	150
1月 10日	0	100	0	0	230	20	60	120	3	533
2月 12日	0	10	20	2300	1540	20	60	40	0	3990
3月 11日	0	10	30	640	1680	40	100	120	13	2633

網別プランクトン数月別推移（亀山大橋）

調査月日	藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻	黄金色藻	珪藻	ユーグレナ藻	緑藻	その他の植物性	動物性	合計
4月 5日	40	150	50	10	6550	0	680	180	87	7747
5月 7日	0	590	40	0	1650	10	570	260	3	3123
6月 4日	60	0	0	30	2910	40	1780	80	1	4901
7月 3日	530	160	0	10	1530	20	700	0	20	2970
8月 15日	49440	260	0	140	320	10	1190	0	82	51442
9月 13日	430	160	330	10	1140	110	990	40	10	3220
10月 2日	1250	2660	120	380	1880	120	2320	300	105	9135
11月 13日	870	90	0	10	120	20	60	0	0	1170
12月 14日	0	90	0	0	210	0	70	80	24	474
1月 10日	0	50	0	0	10	10	50	0	2	122
2月 12日	0	60	240	1580	470	10	50	100	5	2515
3月 11日	0	40	60	170	4160	0	140	620	111	5301